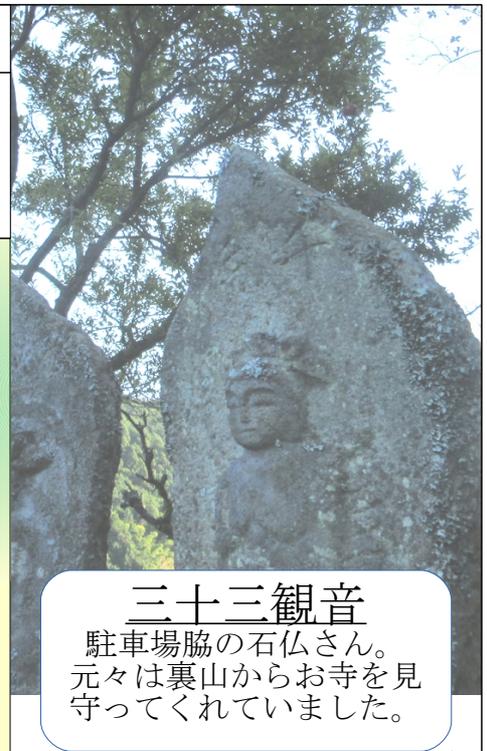


# 光雲

## 仏さまの目を持つとう

あけましておめでとうござい  
す。よき新春をお迎えのこと  
と、お喜び申し上げます。旧年  
中はひとかたならぬご厚誼を賜  
りまして、大変ありがとうございます

いました。本年もなにとぞよろしくお願  
いいたします。さて、少し前のことでありま  
すが昨年十一月に漫画家の水木しげるさん  
が亡くなられたニュースが流れました。私  
も子供の頃には『ゲゲゲの鬼太郎』や『悪  
魔くん』などをテレビでいつも見ておりま  
したし、数年前には朝の連続ドラマ『ゲゲ  
ゲの女房』も毎朝楽しみに見ておりまし  
た。漫画や朝の連続ドラマの内容の面白さ  
もさることながら、連続ドラマの中で演じ  
られる水木さんの人柄に魅力を感じさせら



三十三観音  
駐車場脇の石仏さん。  
元々は裏山からお寺を見  
守ってくれていました。

れることが多くありました。その後も九十歳  
を超えてなお精力的に活動されているニュー  
スを目にしていたので突然の訃報には大変驚  
かされました。

今回はそんな水木しげるさんが生前に語ら  
れていたという「幸福の七カ条」というもの  
をご紹介します。ただこれだけだと思いきや、

### 「幸福の七ヶ条」

第一条 成功や栄誉や勝ち負けを目的に、ことを行っ  
てはいけない。

第二条 しないではいられないことをし続けなさい。

第三条 他人との比較ではない、あくまで自分の楽し  
さを追及すべし。

第四条 好きの力を信じる。

第五条 才能と収入は別、努力は人を裏切ると心得  
よ。

第六条 怠け者になりなさい。

第七条 目に見えない世界を信じる。

以上が幸福の七ヶ条です。水木さんらしい  
素敵な言葉が多くあると感じます。その中で  
私は特に5つ目の「努力は人を裏切ると心得  
よ」という部分に水木しげるさんの人生観を



感じずにはいられな  
いのです。実力が  
あったとしても、努  
力したからといって  
も必ず良い結果につ  
ながるわけではない  
ということでしょう

少しドキツとするような厳しい言葉である  
ように思います。水木さんは別の所でこの  
ようにも言われています。「私は阿呆と言  
われてきたが気にならなかった。私は世の  
中の法律とは別の法律に則って生きてきた  
んです。」「世の中の法律（価値観）では努  
力の先には収入や栄誉という結果がセット  
になっているでしょう。そうであれば努力  
は結果を裏切ることも多々あるでしょう。

たしかにドラマの中で水木さんは努力して  
も中々結果が出ない姿が描かれていまし  
た。しかし、それでも進み続ける姿は決し  
て努力に裏切られた事でへこたれているよ  
うには見えませんでした。きっと水木さん  
の価値観では努力の先にあるものが只の栄  
誉や収入というものではなかったのではな  
いでしょうか。仏教でもまた世間の価値観  
でなく仏さまの価値観（仏さまの目）を持

## 坐禅会

日程 毎月第3土曜日  
時間 午後4時（約一時間）

## 写経会

随時受け付けています！



つことを大切にします。自分の利益になるだろうか、人に誉めてもらえるだろうか等々…。私達は世間の目や評価を基準に物事を行ってしまいうのです。それが行き過ぎると自分さえよければ何をやっても構わない、一銭の得にもならない事や人には興味がない。受験や仕事で結果が出なかつた事で自分の人生全てを否定してしまふ。そんな考えに囚われてしまふ事でしょう。仏さまの目とは自分自身の内側に問いかける事です。努力をした事を自分自身で受けとめればたとえ努力に対して世間の結果が悪くとも決して自分を裏切ることはないでしょう。その努力は自身を成長させ、無限の幸福が内側から湧き出てくるでしょう。本当の幸福とは他から与えられる幸福ではなく、自分の内側からあふれてくる幸福なのだと思います。新しい一年を迎える今、いま一度自身を見つめなおして仏さまの目をもって一年をつとめていただければと思っております。今年一年も皆様のご健康とご健勝をお祈りしております。

住職 合掌



こんな事やっています

〜車祈祷〜

新年を迎えて多くの方が初詣をされて一年間の健康や安全を祈られることかと思ひます。ご祈願と云うと神社というイメージが強いかと思ひますが、光雲寺でも色々な御祈願を行っております。お正月やお地藏供養にお配りする御札も御祈願をして皆さんへとお配りしております。また、交通安全の車祈祷なども依頼があらば行っております。皆さんの願いの後押しをさせていただけるよう力を込めてつとめさせていただきます。車に貼る光雲寺交通安全ステッカーもご用意しております！



お寺な日々〜妻手記〜



昨夏、子供が産まれました。初めての妊娠・出産ということもあり、とても不安が大きく、子供を産む壮絶さを伝えたい、お父さんになる自覚を持って欲しいと思つていたので立会出産を希望していましたがお寺の住職なので、子供が生まれる日には何もありませんようにと切実に願つていました。もちろん常日頃から何も無いことが一番ですが、人の生死は待たなしといわれておりますので出産予定日付近はそういう意味でもドキドキしていました。そんな母の心を知つてか知らずか、法要などを避け、何も無い日に生まれてきてくれました。妊娠中のつわりも出産の痛みも帳消しにしてくれる程、娘の誕生は喜ばしく愛しい出来事でした。

【年間行事予定】

- 一月一〜三日・大般若祈祷会
- 二月十五日(月)・涅槃会
- 三月十七日〜二十三日・春彼岸
- 三月二十一日(月)・千巻心経
- 五月八日(日)・花祭り
- 七月二十四日・お地藏供養
- 八月前半・お盆経
- 八月十四日・盆踊り大会
- 九月二十日〜二十六日・秋彼岸
- 九月二十三日(木)・千巻心経
- 十二月末・歳末行事